

情報 ひがし労

JR東労働組合 中央本部

発行人 松下 明

編集者 情宣部

**本部・本社間で協約締結！
着実に強化・前進している
JRひがし労に今こそ結集を！！**

JR 東労働組合は、本日 12 月 3 日に東日本旅客鉄道株式会社（本社）と「労使間の取扱いに関する協約」及び「賃金控除に関する協定（24 協定）」等について締結しました。

10 月 15 日以降は高崎支社との締結でありましたが、他地方の仲間の加入に伴い本社との締結に切り替わりました。これは、私たち JR ひがし労にとっても、更にはひがし労への加入に悩んでいる仲間にとっても大きな意味を持つといえます。

会社は今、経営ビジョン「変革 2027」に基づき時間軸とスピード感を意識し、様々な施策を打ち出してきています。営業職場においては業務委託や無人駅の拡大、CTC 化に伴う信号輸送業務の見直し、運転職場では乗務員勤務制度の見直しや賃金制度の改正、ワンマン運転の拡大、更には首都圏を中心とした乗務員基地の再編までも実施されようとしています。設備部門においては先日、「電気部門の変革 2022」が提案されました。今後は、保線部門においても同様の施策が提案されることは想像に難くありません。きかく部門においても依然として業務量と要員のアンバランスが解消されず時間外労働の抑制には程遠い状況になっています。どの系統においても、経営環境を理由に効率化が行われ、労度密度の強化や労働の複務化に拍車が掛けられています。一方、各地方において会社が掲げる「社員や家族の幸福実現」とはかけ離れた本人希望が尊重されない転勤が多く発生している現実もあります。

みなさん、今の状況をどう思いますか？この先、本当に安心して働けますか？職場と仕事を守り安全・健康・働きがいを担保できますか？すべては自分に跳ね返ってくることです。

私たち JR ひがし労は、苦勞し悩んでいる人たちに寄り添い、組合員の声を真摯に受け止め、職場の現実から会社へのチェック機能を果たし、今の現実に向き合い本社としっかり議論していきます。

今こそ労働組合の存在意義を捉え返し、そして、未来への展望を切り拓き組合員・家族の利益のために、ひがし労への結集を声を大にして呼びかけます！！

職場と仕事と生活を守るために

JRひがし労の旗の下で共にたたかおう！